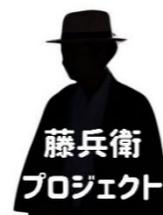


地域とともにある学校・学校を拠点とした地域づくりをめざす羽小 CS
～学校・家庭・地域連携を中心に～



1 コミュニティ・スクール羽田小学校

令和5年9月から CS を導入、2 年目に入りました。学校運営協議会の委員は15名。

地域学校協働本部「スクールサポート HANEDA:通称はねサポ」の地域コーディネーターは3名。

121年前に、羽田小学校の設立に尽力した三代目小野藤兵衛さんの志を引き継ぎ、町が心をついに子どもたちを見守り関わり合えるようにと「藤兵衛プロジェクト」を立ち上げているところです。

2 コミュニティ・スクールとしての議論や取組の概要

- ① CS と町会長さんとの連携・協働 羽田の祭り学習と祭りマップ・掲示版
- ② 夏の夜の家族映画会(夏ワク 特別バージョン)
- ③ 羽小防災の日～地域連携防災体験

CS と町会長さんとの懇談会

【課題】学区には11の町会がある。CS 委員には、町会代表として1人参加していただいているが、学校と町会・地域が連携、対話する仕組みがない。学校の教育活動への協力・連携、学校を拠点とした地域づくりを行うために、町会長との連携を図る必要がある。

【取組】15人の CS 委員と11町会長との懇談会・懇親会を行うことにする。令和6年4月に第1回の顔合わせをし、祭りと防災を学校の教育活動に位置付ける提案を行う。ご意見等はFAXや電話でいただくことに。

祭り学習・祭りマップ・祭り掲示版

【課題】7月の最後の土日が羽田例大祭(羽田の祭り)である。11の町会から、それぞれ神輿や山車が出る。まちぐるみの祭りではあるが、コロナ禍で4年間祭りが開催できなかったため、祭りを知らない子どもたちがたくさんいることを知り、安心して祭りに参加できるようにする必要がある。

【取組】「羽田の祭り」とは何か、どのように参加できるか、中学年の総合に「祭り学習」を取り入れる。町会長や羽田青年会連合の協力をいただき「祭りマップ」を作成する。また、祭りに関するお知らせやポスター、子どもたちの意気込み、青年会の方々からのメッセージなどを貼ることができる「祭り掲示版」も北門に初登場。

学校・PTA・CS・地域協働 ～夏の夜の家族映画会～

【課題】希薄になってきている学校・家庭・地域の連携、家庭と地域の教育力を高めようと、人権に関する映画を家族で見る企画が学校運営協議会で提案された。

【取組】夏休みのわくわくスクールの講座の1つとして、PTA が主催、CS、地域学校協働本部が共催で、東京法務局、人権擁護協会の後援もいただき、夏休み最後の金曜日の夕方に体育館で開催。

この町の防災をみんなで考えよう ～羽小防災の日～

【課題】羽田小学校は9町会の災害時の避難所になっている。防災拠点本部はあるが、実際に9町会そろっての避難所設営・運営訓練はされていない。町会や子ども会に加入していない家庭が多くなり、自分の町会や町会ごとに設定されている一時(いつとき)集合場所を知らない子どもが多数いる。

【取組】「自助」「共助」を学び実践するとともに、保護者・地域の方が顔の見える関係づくりをめざし、土曜授業日を「羽小防災の日」と設定し、さまざまな取組を行う。町会は1番身近なコミュニティ、町会ごとに集まり一時避難場所に行く「町会別下校」を行う。また6年生は新設教科「おおたの未来づくり」の単元のテーマに「食の防災」を取り上げ、まちの方々に提案を行う。

3 取組の成果と今後の課題等

●取組の成果

【羽田が大切にする「祭り」との関わり】

3・4年生：総合的な学習の時間：「祭り学習」祭りを知ろう・学ぼう

羽田青年連合会から、昔の祭りの写真、映像などをお借りし、そこで浮かんだ質問に答えていただくためにゲストとして来ていただいた。「祭り」の歴史やそれを支える人々の思いを聞き、最後は神輿の掛け声を一緒にかけ、「祭り」を学ぶことができた。



CS を中心に作成 祭りマップ

羽田青年連合会作成 祭り掲示板



【夏の夜の家族映画会】

絵本の読み聞かせ映像を1本、人権のアニメ映画を3本上映。PTA 役員・PTA お助け係・CS 委員・地域学校協働本部が綿密な打ち合わせを行い実施。当日は、地域のボランティアの会の方も運営に参加。



【羽小防災の日～地域連携防災体験】

学校公開の土曜授業日(10月12日)、1日かけて「防災」に関する活動を保護者・地域・関係諸機関とともに行う。NPO 法人「トイレ研究所」の方から「災害時トイレについて」の講演。1年生から6年生までは、防災・減災・人命救助・避難所設営等、発達段階に応じた訓練や体験を行う。

6年生は、おたの未来づくり「食の防災～ローリングストックレシピを提案しよう」の提案発表会を行い、防災拠点本部長から講評をいただく。まちぐるみで防災を考える第一歩となり、今後の継続発展が課題。



1年 防災ダック訓練 2年生 煙ハウス体験・2年と4年で紙スリッパ作り



3年 起震車体験・1年生と紙食器作り
4年 通報訓練・紙スリッパ

5年 消火器訓練・配給訓練

6年生 段ボールベッド・トイレ組み立て・人命救助

